

## 戦後七〇年

新年あけましておめでとうござい  
ます。

安倍内閣は、戦争できる国づくり  
を着々とすすめています。秘密保護  
法をつくり、集団自衛権を認め、来  
年度軍事費の過去最高の5兆円で海  
外で戦争ができる武器を購入しま  
す。沖縄県民が圧倒的に反対してい  
る辺野古移転の費用も組み込まれて  
います。この軍事費は、社会保障費  
を削りつくられます。軍事費が命を  
奪うという意味では、もう戦争が始  
まっているとも言えます。  
先日、鹿児島にある知覧(ちらん)

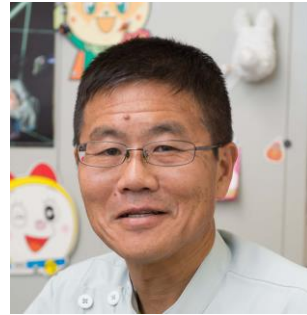
## 医療・福祉の現場から

特攻平和記念館に行ってきました。  
七〇年前、一五年におよぶ戦争、そ  
の末期になると日本は、もはや戦闘  
能力のほとんどを喪失してしまし  
た、そして戦闘機に二五〇キロの爆  
弾を抱えて、米軍戦艦に戦闘機ごと  
体当たりする狂気の戦法、いわゆる  
「特攻」を始めました。知覧基地か  
ら四〇〇人の若者が飛び立ち命をお  
としました。強固な米国の守りのな  
かで、実際に撃沈された空母、戦艦  
は皆無でした。この記念館には犠牲  
になった若者の遺書や遺品が展示さ  
れています。彼らの犠牲の上に現在

## 憲法守れ、戦争するなの運動を！

の平和憲法がつけられ、七〇年間一  
度も戦争をしない国を維持してきた  
ことが、犠牲になった彼らへの最高  
の弔いだと思います。  
現在、衆議院議員の八五%が憲法改  
正を支持していますが、それが実行  
されないのは、再び戦争はしないと  
いう国民世論が憲法改正に反対して  
いるからです。  
戦後七〇年の今年、医療・福祉の現  
場から、命と健康を守るために、憲法  
をまもれ、戦争をするなという運動  
が正念場迎えます。学習をし、運動  
をすすめてゆきましょう。

香川民医連会長  
中田 耕次



## 年頭のご挨拶

## 14年度第2回県連医師団会議を開催しました！

暮れも迫る12月21日、今年度第2回目の医師団  
会議が研修室で行われました。

午前は寺川 Dr、佐藤龍 Dr、高橋 Dr、豊岡 Dr の研修  
報告と、全日本民医連の医師養成会議に出席された  
北原孝 Dr から報告を受けました。また、2013、14  
年度の経営悪化のために設備投資や施設展開に課題  
があることから、各事業所の事務長から経営報告と  
対策の報告、専務から2015年度予算編成に向けた課  
題について報告を受けました。

午後は、午前の報告を受けてグループ討議を行い、  
今後の法人の医療活動について活発な意見が出され  
ました。鍵は、経営改善の具体的な方策と医師配置  
です。小グループで、医療・介護、そのエリアでの  
役割等を理解し合いながら具体的な方針を共有でき  
たと好評でした。今後は法人理事会と連動したプロ  
ジェクト会議で2015年度中に中長期展望を決定す  
ることを確認しました。



最後に、医学対の会議のために来高された谷川智  
行医師（東京民医連の診療所所長）にミニ講演をし  
てもらいました。月1回継続している「路上何でも  
相談会」の取り組み、東大内の教養学部生に過労死、  
B型肝炎訴訟、障害者政策等など「社会で起きてい  
る現実」をテーマに、講演やフィールドワークを通  
して、学び深める取り組みを伺いました。東京でも  
活躍されている姿を拝見できました。

感想文では「3グループとも討論内容が似ていた  
ため今後の方向性が出たと思う。やはり医師養成が  
大切」「民医連医療を率直に語り、共感し、一緒に頑  
張ろうと思える人と出会い育てることが大切だと思  
った」とあり、医師集団が議論し認識を一致させる  
ことができた会議でした。

(高松平和病院医局事務課 末澤理恵)

